



今年も本校を会場に「つるみアート作品展」が開催されました。分教室も含め、全校児童生徒の日々の学習の成果が、廊下やプレイスペース、ヨットの広場や体育館などに展示され、さながら学校全体が美術館となったようでした。一つ一つの作品のもつ味わいと共に、複数の作品が集まることで生まれる大きなパワーが校舎内に溢れ、保護者の方々をはじめ、たくさんの方に楽しんでいただくことができました。



子どもたちは毎日、様々な学習場面で表現活動を行っています。音楽や体育、図工・美術の授業だけでなく、生活や家庭、生活単元学習や作業学習、部活動や同好会など、それぞれの学習や活動内容に合わせて、自分の手やからだ全体を使い、時に友だちと協力しながら、力いっぱい自分を表現しています。



その中で「書や絵をかく」「物をつくる」という活動は、作品として残り、時間を超えて、子どもたちの思いを観る人に伝えられるという特徴があります。

さらに、子どもたち自身も、自分や友だちの作品を客観的に観たり、いろいろな方に作品を褒めていただいたりすることで、大きな自信や新たな気づきを得ることができます。また、私たち教員にとっても、その貴重な瞬間に立ち会えることが何よりの喜びとなっています。

職員玄関前、グループ学習室内の「つるみアートギャラリー」では、今後も月替わりで子どもたちの作品を展示します。ご来校の際には是非お立ち寄りください。また、ホームページでも作品掲載に向けて、現在準備を進めておりますのでご期待ください。これからも鶴見養護学校は、アート作品の溢れる学校として、子どもたちの表現を大切に育み、発信してまいります。

